

2022. 11.25 教育研究会 教育実践部門 国語科

生徒が自力で深い読みを実現するための個別最適・協働的な学びの一体化

～文学作品の読解指導を通して～

弥彦村立弥彦中学校

平成 23 年度 北直人

国語科における「主体的・対話的で深い学び」とは、言葉による見方・考え方を働かせながら自分の考えを深めることである。文章を読みながら、言葉と言葉、対象と言葉の結び付きを捉え、その自覚を通して認識を深めていく。

本発表で紹介する実践では、言葉による見方・考え方を主体的に働かせるための手立てとして、「初発の疑問を探究」したり、「複数の訳文を比較・検討」したりした。これらを通して、新しい言葉による見方・考え方を得ることができると考えた。

上記の言語活動に、個別最適、協働的な学びの一体化を目指して授業実践を行った。